SDGs達成に向けた取組みチェックリス 新規　事業名：株式会社キャップ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・年1回の決起大会にて経営理念や経営目標を全社員と共有している。 ・デジタル印刷設備や製本ラインの強化により、品質・納期の安定化を図るとともに、社内での工程管理も徹底している。 ・経営の透明性や役職体制の明確化によるガバナンス強化、人材育成を含む社内教育にも取り組み、安心して業務を任せられる内部管理体制を構築している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・個人情報保護を徹底するとともに、社内でのコンプライアンス教育や情報セキュリティ対策を強化し、法令遵守を徹底している。 ・取引先とはNDAを結び、秘密情報の漏洩や不正利用防止に取り組んでいる。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な競争を重視し、法令や業界ルールを遵守した透明で誠実な取引を行い、全従業員に向け、朝礼や毎年実施している経営方針発表会にてその重要性を発信している。 ・地域社会や取引先との信頼関係を大切にし、健全なビジネス環境の維持に取り組んでいる。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、チェックしている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・生産部部長を担当者として定め、自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。具体的な正の影響としては雇用創出、サービス提供による自治体や地元企業の集客や売上向上への寄与。負の影響は紙の利用や印刷過程でのエネルギー消費等であり、デジタル化の推進や環境負荷の低い印刷機等の導入により抑制に取り組んでいる。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・著作権やデザイン権などの知的財産を尊重し、社内での適切な管理と教育を通じて、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・使用後のデータは期日到来時には消去する等、個人情報の適切な管理と安全対策を徹底するとともに、社員教育を通じて情報保護意識の向上に取り組んでいる。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・地域の顧客や取引先、社員などのステークホルダーと対面での対話を大切にし、信頼関係を築くことで、地域社会と共に持続可能な発展に貢献している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・災害や事故に備えBCPを策定し、定期的に訓練や見直しを行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・多様な人材を尊重し、公正な採用と職場環境の整備を通じて、あらゆる差別の禁止と働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 ・就業規則に各種ハラスメントについても明記し、社内で差別がない体制を構築している。 ・定期的にハラスメント講習等へ参加し、参加者が社内向け周知を実施している。講習には同業他社も参加しており、社内での体制や事例等について情報共有をしている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・5S活動推進や安全パトロールの実施、事故発生時の対応マニュアル作成、安全啓蒙チラシの掲示等により、従業員の安全と健康を最優先に考え、安全衛生管理体制を整備し、安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿って、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行う旨を就業規則に明記し、取組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・妻の出産時の特別休暇等、社員が仕事と私生活を両立できるよう、多様な働き方の推進や働きやすい環境づくりに取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社内教育を通じて、社員の専門技術やクリエイティブ力の向上を積極的に取り組んでいる。 ・資格取得費用については会社で負担している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・会社負担で健康診断を受診している。 ・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革へ取組を強化している。 ・有給休暇などの取得奨励を呼びかけ、実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・社内の業務効率化を目的としたITツールや生成AIの活用を通じて、現場主導での改善文化の醸成を支援し業務効率化組織を実現している。 ・障害者、高齢者等も積極的に採用を増やしており、多様な人材の活躍に貢献している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・テレワークやウェブ会議等を取り入れ、場所に縛られない職場環境を整備している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・申請書のデジタル化や生成AIの積極活用により、省力化をはかりビジネスモデルの変革に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・【予定】2026年3月までに、ブライト企業の認定を目指す。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 新規　事業者名：株式会社キャップ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ハイブリッドUV印刷設備の導入により、速乾性かつVOC（揮発性有機化合物）排出の少ない印刷方式を採用し、大気汚染への配慮を実現している。 ・オンデマンド印刷やデジタルプリプレス（CTP）の導入により、不要な刷版や廃棄物の発生を抑制し、製造工程での環境負荷を軽減している。 ・印刷過程で発生した廃液は、業者に依頼して適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・炭削くんを活用して自社の電力やガソリンの使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・社屋内は全てLEDを使用しており、電気量削減に取り組んでいる。 ・電気のデマンド装置を設置し、使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・炭削くんを活用して自社の温室効果ガス排出量を把握し、ペーパーレス化の推進や社屋のLED化、環境負荷の低い最新の印刷機の導入等により削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した材料（再生紙、環境対応紙）やサービスの提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。 ・緑地や水辺の整備など（江津湖清掃等）、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料（再生紙、環境対応紙）やサービスの提供を通じて、生物多様性保全に取り組んでいる。 ・印刷ミス削減目標を掲げ、ミスによる廃棄削減への取組みを実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社を上げて江津湖の定期的な清掃を実施しており、熊本の水源保全に貢献している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・ハイブリッドUV印刷機の導入により速乾＋パウダーレス方式を採用し、VOC排出を抑えた印刷手法で環境負荷を軽減するとともに、多様な素材・特殊紙への対応力も向上している。 ・オンデマンド印刷・デジタルプリプレス（CTP）導入により、過剰印刷を抑え、素材やエネルギーの無駄を削減。必要な分だけ印刷する仕組みで、廃棄物の抑制に貢献している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・会合時の3010運動の推奨等により食品ロスへの意識醸成に取組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・最新鋭の省エネルギー性能の高い印刷機器を導入しており、エネルギー使用率の向上に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・来客時の飲み物をPET容器から紙容器へ変更し、プラスチック使用量の削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・交通費支給を通し、電車やバス等公共交通機関での出勤を推奨することで環境に配慮した交通手段の利用を促している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 新規　事業者名：株式会社キャップ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・高度な印刷設備と職人技の融合により、色彩や質感にこだわった高品質な印刷物を提供している。 ・印刷プランナーによる校正や確認対応を重視し、発注から納品までの品質管理プロセスを厳密に実施している。 ・UV印刷・オンデマンド印刷・CTP導入などデジタル技術を活用することで、鮮明な仕上がりと納期・精度の安定性を確保している。 ・5S活動推奨、品質事故再発防止徹底により品質向上を目指している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ユーザー視点に立った「デザインの敗北」を回避するため、読みやすさ・使いやすさを重視したデザイン制作に取り組んでいる。 ・UD書体や適切な文字サイズ・行間・トラッキングを意識して校正・レイアウトを行うなど、印刷物にも配慮を徹底している。 ・SDGsに関連する「すべての人に届くデザイン」を意識し、高齢者や障がいのある方など多様なユーザーにも優しい情報設計を推進している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県主催レシートラリーの制作を通じ、熊本県内での地産地消促進に貢献している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・児童園への寄付、江津湖の清掃活動、プロバスケットボール選手を集めた子供向け教室の主催等地域への社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・BCP作成、避難経路図の掲示、避難訓練の実施により緊急時の対応を明確にしている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でSDGsに関する研修を実施し、全社員にSDGsの意識醸成に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生のインターンシップ受入れにより、地域の学生に対し職場の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・子ども向けの農業教室を実施し、県内の農業の普及啓発に取り組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。